

連携

第58号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

栗原中央病院連携強化元年

院長 中鉢 誠司

「連携なんかはくそくらえだ、これからは統合の時代だ。」

これはある総合病院の理事長が今年の診療報酬改定の説明会で言われた言葉です。その総合病院は病院だけでなく介護施設や保健福祉施設、在宅診療所なども併せ持つ巨大なグループ企業であり、10年以上前から各施設間をIT技術を用いて情報連携している、いわば先進的なモデル病院です。そのような病院でも現在の連携には満足できず冒頭の言葉になったと思われます。巨大なグループを形成しているとはいえ周辺の一般の医療機関や介護施設、特に市町村との協力がなければ本当の意味での連携と地域包括ケアシステムの構築は難しいという事だと推察されます。

今年度の改定では医療の機能分化と連携がテーマとなっています。特に連携に関してはこれまでの病診連携だけではなく、歯科診療所、調剤薬局、介護施設、訪問看護などとの連携が重要視されています。現在の栗原中央病院が行っている連携は患者さんの紹介・逆紹介をスムーズに行う病診連携、退院調整のなかでの病院・介護連携、在宅患者・家族のための後方支援病院とレスパイト入院、医療・介護を担う職員同士の情報交換のための「よらいん」の定期開催などがあります。多くは患者さんの為に行っていることではありますが、これまでの診療報酬改定による誘導に従い病院の経営を考慮に入れて行っている部分もあります。これから栗原市独自の地域包括ケアシステムを作り上げていくためには、これまで以上の多職種、他施設との連携が必要になってきます。それぞれの組織や施設にはそれぞれの方針があり、必ずしも同じ方向を向くことが難しい場合もあります。一つの組織に統合してしまえば話は簡単なのですがそういうわけにもいきません。それぞれが連携する目的をしっかりと捉えて目標にむかって協力して行ければと思います。ひとりひとりの患者さん（市民）に、より良い医療・介護・福祉を提供するために連携を取り、それらが積み重なっていくことが、栗原独自の包括ケアシステムを作り上げることになると思いますので、今後さらに強い連携を作り上げていきたいと思ひます。本年度も宜しくお願いします。

新規職員紹介

平成27年4月1日付けで採用となりました先生方です。どうぞよろしくお願い致します。



内科医員 ささき のぶよし
佐々木 信吉

2年間の初期臨床研修を終えて、引続き後期研修医として栗原中央病院で勤務すること

になりました。

どうぞよろしくお願い致します。



内科医員 ささき あきひろ
佐々木 章裕

初期研修2年間お世話になり、1年間は別の病院で消化器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科で研修をしました。また、皆さんと力を合わせて、楽しく仕事ができればと思います。宜しくお願い致します。



= 臨床研修医 =

臨床研修医 1年目

K.D



臨床研修医 1年目

A.Y



臨床研修医 1年目

K.K



★ 看護部 ★



医療局看護専門監
兼栗原中央病院副院長
兼看護部長

あべ しゅくこ
阿部 淑子

副看護部長

さとう こうこ
佐藤 工子

副看護部長

ちば ゆみこ
千葉 由美子



平成28年3月31日付け 退職者

大変お世話になりました

職名	氏名	職名	氏名
内科部長	鈴木 慎二	副院長兼看護部長	高橋 輝子
内科医長	松浦 真樹	看護師長	狩野 敦子
薬剤科長	若生 健司		



今年度は、パワー全開の若い先生方とともに、患者さまを第一に考え、いのちを大切にする最善の医療を行い、地域に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



市民公開講座「地域でとりくむ緩和ケア」

講師：登米市 やまと在宅診療所院長 田上佑輔先生
栗原市普門寺副住職 臨床宗教師 高橋悦堂氏

平成28年2月27日（土）、この花さくや姫プラザにて当院主催の市民公開講座を開催しました。今回は登米市やまと診療所院長 田上佑輔先生、栗原市普門寺副住職 臨床宗教師 高橋悦堂氏を講師に迎え、



栗原市の医療とそれぞれの役割についてお話いただきました。

当日は市内・外含め約240名の参加がありました。「地域でとりくむ緩和ケア」をテーマに在宅診療医師と臨床宗教師それぞれの視点から、実際に現場で行っている活動の様子などを織り交ぜながら講演いただきました。



来場者アンケートでは「お二人の活動に感銘を受けました。」「家族を家で看取ろうと思った。」「医療、病院、医師、看護師だけでなく、地域・家族とケアチームが繋がり支え合うことが大切と感じた。」などの意見を多数いただきました。その一方で「栗原の医療はどうするのか。」「断らない医療を栗原でも考えてほしい。」という意見も聞かれました。

在宅診療の重要性を浸透することと、そこに関わる病院、診療所、開業医、福祉、行政、宗教師、患者家族が一緒に取り組んでいかなければならないと強く感じたとともに、市民のみなさんと今後の栗原市医療について考える良い機会となった講演会でした。



学会・研修会・論文発表

☆2016 American Academy of Orthopaedic Surgery Annual Meeting March 1, 2016 - March 5, 2016 Orlando, Florida

『Strain of the Tendon After Transosseous Equivalent Repair : A Cadaveric Study』
…永元英明

☆日本外科系連合誌 41 巻 1 号 平成 28 年 2 月 29 日発行 P. 116-P.120

『総胆管結石症に起因する門脈血栓症に合併した肝内胆管癌の 1 例』
…中川 有, 中鉢誠司

☆第 207 回内科学会東北地方会 2016.2.20 — 仙台市 —

『ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌で治癒した DLBCL の 1 例』
…○佐々木信吉, 佐藤修一, 中山昇一, 鈴木慎二, 布施 香, 吉越仁美, 柚木敬仁
『非肝硬変性門脈体循環シャントによる高アンモニア血症に対し, IVR による短絡路閉鎖術を施行し, 症状改善が認められ, 上行結腸癌手術を成し得た 1 例』
…○武田美貴, 内海さやか, 山田 剛, 佐野貴紀, 永友宏史, 松浦真樹, 小西秀知, 木田真美, 佐藤修一, 船窪正勝

☆(公社)仙台市防災安全協会 防災講演会 2016.3.15 — 仙台市 —

『医療機関における BCP と気象予報』
…杉山公利





☆診療状況報告☆



◎手術実施状況

(単位：人)

区分	全身麻酔					腰椎麻酔					局所麻酔							合計
	外	泌	皮	整	計	外	泌	皮	整	計	外	泌	眼	皮	内	整	計	
10月	20	1	1	12	34	1	2	0	8	11	1	0	21	3	0	4	29	74
11月	10	0	1	14	25	0	5	0	11	16	0	0	18	3	0	5	26	67
12月	17	1	2	14	34	0	2	0	11	13	3	0	19	2	0	2	26	73
1月	23	0	3	13	39	0	2	0	9	11	3	0	17	2	0	4	26	76
2月	15	2	3	19	39	1	2	0	6	9	0	0	20	2	0	1	23	71
3月	19	2	1	11	33	2	1	0	3	6	1	0	24	1	0	2	28	67
年度計	201	7	21	155	384	13	16	1	119	149	19	0	243	25	0	37	324	857

◎救急医療状況()内及び時間内患者数は救急車搬入数

(単位：人)

区分	外 来		入 院		時間外計	時間内計	救急車搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
10月	282 (66)	19	82 (45)	37	364 (111)	56	167
11月	238 (54)	27	74 (45)	30	312 (99)	57	156
12月	228 (60)	20	88 (44)	34	316 (104)	54	158
1月	258 (72)	31	65 (44)	19	323 (116)	50	166
2月	201 (48)	17	73 (42)	24	274 (90)	41	131
3月	202 (64)	17	62 (41)	28	264 (105)	45	150
年度計	3119 (749)	226	851 (466)	322	3970 (1215)	548	1763

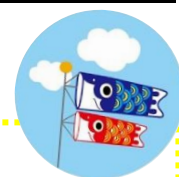
◎内視鏡検査等状況

(単位：人)

	上部消化管				下部消化管		ERCP 関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクト ミー他		
10月	188	11	3	2	95	34	9	342
11月	138	14	3	4	67	35	5	266
12月	150	18	1	4	50	20	10	253
1月	156	22	5	14	55	27	9	288
2月	124	5	2	9	48	16	14	218
3月	166	8	0	7	68	23	10	282
年度計	1993	144	32	83	916	241	102	3511

“サロン de よらいん” 開催についてのお知らせ

平成28年度のがんサロンは“サロン de よらいん”として、毎月第2火曜日（13:30～15:00）より栗原中央病院2階相談室で開催しております。お気軽にご参加ください。



編集後記

新しいメンバーを迎え、新年度がスタートしました。診療報酬の改定に伴い、様々な課題がありますが、院内外と連携して取り組んで参りますので、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1
 栗原市立栗原中央病院（代表）TEL：0228-21-5330 FAX：0228-21-5350
<http://www.kurihara-central-hp.jp/>
 地域医療連携室（直通）TEL：0228-21-5335 FAX：0228-21-5336